

## ・海外感染症流行情報 2023 年 2 月

### (1) 全世界: 新型コロナウイルス流行状況

23 年 2 月は世界全体で新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しています (WHO Corona virus disease 23-2-22)。ウイルスの種類はオミクロン株の BA5 系統 (BF7、BQ1)、BA2 系統 (BA2.75、CH1.1)、組換え型 (XBB、XBB1.5、XBF) が共存しており、国や地域により流行状況が異なります。米国では XBB1.5 が 8 割以上を占めていますが (米国 CDC 23-2-18)、ヨーロッパでは BQ.1 が 4 割と主流になっています (ヨーロッパ CDC 23-2-17)。日本でも新規感染者数は減少しており、BQ.1 の検出が 4 割と最も多くなっています (厚労省アドバイザリーボード会議 23-2-22)。なお、日本政府は、今年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症を 5 類に引き下げる決定をしました。

### (2) 全世界: インフルエンザの流行状況

23 年 2 月になり北半球でのインフルエンザ流行は収束しつつあります (WHO 23-2-20)。米国では感染者数が流行レベル以下になりましたが、B 型がやや増加傾向にあります (米国 CDC flu view 23-2-17)。ヨーロッパではまだ感染者数が多い国もありますが、全体的に減少しています (ECDC 23-2-17)。東アジアではモンゴルを除き感染者数はあまり増えていません。なお、マレーシアで B 型による感染者数の増加がみられています。

### (3) 全世界: サル痘の「公衆衛生上の緊急事態」が継続

23 年 2 月 9 日に WHO は、サル痘 (mpox) を「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の対象に引き続き指定することを決めました (WHO 23-2-15)。感染者数は世界的に減少していますが、中南米などでまだ多いことによります。昨年 5 月からの世界流行で、今年 2 月下旬までに 110 か国から 8 万 6000 人の感染者が確認されています (WHO 23-2-21)。

### (4) アジア: デング熱の流行状況

マレーシアでは今年 1 月から 2 月初旬までにデング熱患者が 1 万人以上発生しており、昨年同期に比べて約 3 倍多くなっています (WHO 西太平洋 23-2-16)。ベトナムでも 1 月から 2 月中旬までに 1 万人の患者数となり、昨年同期の 2 倍の数です。今年は東南アジアで、昨年以上のデング熱流行が起こる

可能性があります。

#### **(5) アフリカ: コレラがマラウイ、コンゴ民主共和国で流行**

アフリカ東部のマラウイで、22年3月からコレラの流行が発生しています。今年1月末までに全土で3万6000人の患者が報告され、1200人以上が死亡しました(WHO 23-2-9)。隣接するモザンビークにも流行が波及している模様です。アフリカ中央部のコンゴ民主共和国でも昨年末からコレラの流行が発生し、今年1月末までに東部を中心に4000人以上の患者が確認されました(WHO 23-2-10)。

#### **(6) アフリカ: 赤道ギニアでマールブルグ熱発生**

アフリカ中部の赤道ギニアで、今年2月初旬にマールブルグ熱の疑い患者が16人発生し、9人が死亡しました(WHO アフリカ 23-2-13)。患者が発生したのは北西部の Kie Ntem 州で、カメルーンやガボンと国境を接する地域です。マールブルグ熱はエボラウイルスに近縁のウイルスによる出血熱で、致死率が大変高い感染症です。感染経路はウイルスを保有するコウモリとの接触と考えられており、患者から直接感染することもあります。アフリカ中部で以前から患者発生が見られていましたが、赤道ギニアでは最初の流行になります。

#### **(7) 南米: パラグアイでチクングニア熱が流行**

パラグアイでは今年になりチクングニア熱の患者が急増しており、2月中旬までに4万人に達しています(Fit For Travel 23-2-17)。昨年の患者数は1年間で1万5000人でした。チクングニア熱は蚊に媒介される感染症で、発熱とともに強い関節痛を起こしますが、デング熱のように重症化することは稀です。同国に滞在する際は蚊に刺されない対策をとるようにしてください。